

Acer プロジェクタ

K10 ユーザーガイド

Copyright © 2008. Acer Incorporated.
All Rights Reserved.

Acer プロジェクタ K10 ユーザーガイド
初版：12/2008

このドキュメントに記載されている情報は、事前の通知なしに、定期的に改訂や変更することがあります。これらの変更は、新しい版のマニュアルや、補足ドキュメントあるいは出版物に収録されます。弊社は、このドキュメントの内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証するものではなく、商品性および特定目的への適合性の黙示的保証を含め、いかなる保証もいたしかねます。

次の欄にモデル番号、シリアル番号、購入日、購入店を記入してください。シリアル番号とモデル番号は、コンピュータに貼ってあるラベルに記載されています。装置についてのお問い合わせの際には、シリアル番号、モデル番号、購入情報をお知らせください。

このマニュアルの著作権は、Acer Inc. にあります。Acer Inc. に対する文書による許諾なしに、電子的、機械的、光学的、手書き、その他の手段により本書の内容を複製、伝送、転写、検索可能な形で保存、他言語への翻訳、コンピューター言語へ変換することを禁止します。

Acer プロジェクタ K10

モデル番号： _____

シリアル番号： _____

購入日： _____

購入場所： _____

Acer と Acer ロゴは Acer Incorporated の登録商標です。本書に記載されるその他の会社の製品名または商標は識別のみに使用されており、それらの所有権は各社に帰属します。

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために

次の指示をしっかりと読みになつてください。この文書は将来いつでも参照できるように保管しておいてください。製品に記載されている警告と指示には必ずしたがってください。

製品のお手入れを始める前に、電源を切ってください

お手入れを始める前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。液体クレンザーやエアゾールクレンザーはご使用にならないでください。湿らせた布で拭くだけに留めてください。

装置取り外しの際のプラグに関するご注意

外部電源コードを接続したり、外したりする際は、次の点にご注意ください：

- コンセントに電源コードを接続する前に、電源ユニットを装着してください。
- コンピュータから電源ユニットを外す前に、電源コードを外してください。
- システムに複数の電源が接続されている場合は、電源からすべての電源コードを外してください。

アクセスに関するご注意

電源コードを接続するコンセントは、装置からできるだけ近く、簡単に手が届く場所にあることが理想的です。装置から電源を外す場合は、必ずコンセントから電源コードを外してください。



.....

警告！

- 水場の近くで本製品を使用することはお止めください。
- 本製品を不安定なカード、スタンド、机の上に設置することはお止めください。製品が落下すると、重大な損傷を引き起こす原因となります。
- スロットや孔は本製品を正常に作動させ、また過熱から保護するための通気用に設けられたものです。これらの孔を塞いだり、覆ったりしないでください。本製品をベッド、ソファ、絨毯、その他類似したモノの上に設置するなどして通気孔を塞がないでください。

本製品を放熱物または過熱装置の近くまたはそれらの上に設置したり、適切な通気孔が設けられていない作り付けの棚に設置したりすることはお止めください。

- 本製品のキャビネットスロットに異物を押し込むと、危険な電圧が流れるパーツに触れたり、パーツがショートしたりするなどして、火災や電気ショックの原因となります。製品を液体で濡らさないでください。
- 内部パーツが破損したり、バッテリー液が漏れたりする場合がありますので、本製品は必ず安定した場所に設置してください。

- スポーツ場、スポーツジム、あるいは振動の激しい場所に本製品を設置すると、予期せぬショートを引き起こしたり、ローターデバイスやランプが破損する場合があります。

電力の使用

- 本製品はラベルに記載されているものと同じ電源で操作しなければなりません。電源の種類が不明な場合は、販売店かお住まい地域の電力会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上にモノを載せないでください。また人がコードにつまづきやすい場所に本製品を設置することもお止めください。
- 本製品を延長コードに接続する場合は、その延長コードに接続しているすべての装置の合計アンペア数が延長コードのアンペア数を超えないように注意してください。また、コンセントに接続しているすべての製品の合計レートがヒューズ値を超えないように注意してください。
- 複数の装置を1つのコンセントやストリップ、ソケットに接続すると負荷がかかりすぎてしまいます。システム全体の負荷は、支路の80%を目安にこれを超えないようにしてください。電源ストリップを使用する場合は、電源ストリップの入力値の80%を超えないようにしてください。
- 本製品の電源コードには3線接地プラグが付いています。このプラグは接地されたコンセントでしか使用できません。電源コードのプラグを差し込む前に、コンセントが正しく接地されていることを確認してください。接地されていないコンセントには挿入しないでください。詳細は、電気技師にお尋ねください。



警告！ 接地ピンは安全対策用に設けられています。正しく接地されていないコンセントを使用すると、電気ショックや負傷の原因となります。



注意： 接地ピンは、本製品とその近くにある他の電気装置との干渉により生じるノイズを防止する役割も果たします。

- 本製品には本製品に同梱されている専用の電源コードセットのみをご使用ください。

補修

ユーザーご自身で本製品を補修することはお止めください。カバーを開けたり、外したりすると、危険な電圧が流れるパーツに触れたり、その他の危険性があります。修理については、資格のあるサービスマンにお尋ねください。

次のような場合は、本製品をコンセントから外し、専門のサービス担当者へ補修を依頼してください：

- 電源コードやプラグが破損している、切れている、または磨耗しているとき
- 製品内部に液体をこぼしてしまったとき
- 製品を雨や水で濡らしてしまったとき
- 製品を落としたり、ケースが破損したとき
- 製品の性能が著しく変わり、補修の必要性を示すとき
- 操作手順にしたがって操作しているにも関わらず、正常に作動しないとき



注意：取り扱い説明書に記載されている場合を除き、その他のパーツを無断で調整するとパーツが破損する場合があります。その場合、許可を受けた技術者が補修する必要があるため正常の状態に戻すまでに時間がかかります。



警告！安全のために、コンポーネントを追加または交換する際は、本製品専用のパーツをご使用ください。オプション製品の購入については、販売店へお尋ねください。

この装置およびそのアクセサリ類には小さいパーツが含まれている場合があります。これらは小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

その他の安全のためのご注意

- プロジェクタのランプがオンになっているときには、絶対にレンズを覗き込まないでください。光線が強力なため、視覚障害を引き起こす恐れがあります。
- 先にプロジェクタをオンにしてから、信号ソースをオンにします。
- 本製品を次のような場所に設置しないでください：
 - 通気が悪い、または壁と密接した場所。壁から最低でも 10 cm は離し、プロジェクタの周囲の通気を十分に保つことが必要です。
 - 窓を締め切った車内など、温度が極度に高温になる場所。
 - 高湿度、あるいはホコリやタバコの煙が立ちやすい場所に設置すると、光学コンポーネントが汚れ、製品の寿命を短縮したり、画像が暗くなったりします。
 - 火災警報器の近く。
 - 温度が 35 °C/95 °F 以上になる場所。
 - 海拔 3048 メートル以上の場所。
- プロジェクタに異常が発生した場合は、直ちに電源コードを外してください。プロジェクタから煙が立ったり、ノイズや異臭がするときには、プロジェクタの操作をお止めください。火災や電気ショックの原因となります。このような場合は、直ちに電源コードを外し、販売店へお問い合わせください。

- プロジェクタが破損している場合、または落としてしまった場合は、プロジェクタの使用を直ちにお止めください。このような場合は、販売店へ検査を依頼してください。
- プロジェクタのレンズを太陽に向けしないでください。火災の原因となります。
- プロジェクタの電源を切る前に、冷却サイクルが完全に完了したことを確認してから電源を外してください。
- 通気用格子や底のプレートは高温になりますので絶対に触れないでください。
- プロジェクタが作動しているときに通気用格子を覗き込まないでください。目の障害を引き起こす恐れがあります。
- プロジェクタが作動しているときにプロジェクタのレンズを塞ぐと、塞いでいる異物が過熱して変形したり、火災の原因になったりします。
- このプロジェクタを解体しないでください。本体内部には高電圧が流れるパーツがあり、ケガを引き起こす恐れがあります。補修は許可を受けた専門の技術者にお尋ねください。
- プロジェクタを縦に立てた状態にしないでください。プロジェクタが落下してケガや破損の原因となります。

遠隔操作を行う場合の操作環境（オプション）



警告！安全のために、次のような状況でコンピュータを使用する場合はワイヤレス装置や無線装置をすべて切ってください。これらの装置とは次のものを含みますが、それだけに限りません：無線 LAN (WLAN)、ブルートゥース、3G などが含まれます。

お住まい地域の規定にしたがってください。また使用が禁止されている場所または干渉や危険を引き起こす可能性がある場所では、必ず装置の電源を切ってください。装置は必ず正常な操作位置でご使用ください。この装置は正常な状態で使用するとき RF 被爆規定に準拠します。装置とアンテナは使用者から 1.5 センチ以上離れた場所に設置してください。金属は絶対に使用せず、装置は上記に記載した条件で設置してください。

データファイルやメッセージを転送するには、ネットワーク接続の状態が良くなければなりません。場合によっては、接続が使用できるようになるまでデータファイルやメッセージの転送が遅れる場合があります。

転送が完了するまで、上記の距離に関する指示に従ってください。

装置の一部は磁気になっています。装置が金属を引き付ける場合がありますので、聴覚保護装置をお使いの方は、聴覚保護装置を使用した耳にこの装置を当てないでください。装置の近くにクレジットカードやその他の磁気記憶装置を置かないでください。それらに保管されている情報が消去される場合があります。

医療装置

ワイヤレス電話を含む無線通信装置を操作すると、保護が不十分な医療装置の機能に障害を与える恐れがあります。それらが外部無線周波から適切に保護されているかどうかについて、またその他のご質問については、医師または医療装置メーカーにお尋ねください。医療施設内で装置の電源を切ることが指示されている場合は、その指示にしたがってください。病院や医療施設では、外部無線周波の影響を受けやすい装置を使用している場合があります。

ペースメーカー：ペースメーカーの製造元は、ペースメーカーとの干渉を防止するために、ワイヤレス装置とペースメーカーの間に 15.3 センチ以上の距離を置くよう推奨しています。独立したリサーチ機関、およびワイヤレス技術リサーチ機関も同様の推奨をしています。ペースメーカーをご使用の方は、次の指示にしたがってください：

- 装置とペースメーカーの間には必ず 15.3 センチ以上の距離を保ってください。
- デバイスのスイッチをオンにしている間は、ペースメーカーにデバイスを近づけないでください。干渉を受けることが予想される場合は、デバイスの電源を切り別の場所に保管してください。

聴覚保護装置：デジタル無線装置の中には、聴覚補助装置と干渉を起こすものがあります。干渉を起こす場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

乗り物

無線周波信号は、電子燃料注入システム、電子滑り止め、ブレーキシステム、電子速度制御システム、エアバッグシステムなどのモーター自動車に不正に装着された電子システムや、防止が不十分な電子システムに影響を与える場合があります。

詳細については、自動車または追加した装置のメーカーまたはその代理店にご確認ください。装置の補修、および自動車への装置の取り付けは指定された技術者が行ってください。補修や装着は正しく行わなければ大変危険であり、装置に付帯された保証を受けることができなくなります。自動車の無線装置はすべて、正しく装着されていることと、正常に作動していることを定期的にチェックしてください。装置、そのパーツ、またはアクセサリ類と同じ場所に可燃性液体、ガス、あるいは爆発の危険性がある素材と一緒に保管したり、運送したりしないでください。エアバッグが搭載された自動車は強い衝撃を受けるとエアバッグが膨らみます。エアバッグの上またはエアバッグが膨らむ場所に無線装置（装着済みまたは携帯用を含む）などを設置しないでください。車内に無線装置が正しく装着されておらず、エアバッグが作動してしまった場合は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

飛行機内でこの装置を使用することは禁止されています。搭乗前に装置の電源を切ってください。機内で無線電話装置を使用すると、飛行機の操縦に危害を与えたり、無線電話ネットワークを中断させたりする場合があります、法律により禁止されている場合もあります。

爆発の可能性がある環境

爆発の危険性がある場所では、かならず装置の電源を切り、表示されている注意や指示にしたがってください。爆発の危険性がある場所とは、通常自動車のエンジンを切るよう指示される場所を含みます。このような場所でスパークすると爆発や火災の原因となり、身体に傷害を与えたり、死亡に至る場合もあります。ガソリンスタンドの近くなど、燃料補給エリアでは装置の電源を切ってください。燃料補給所、貯蔵所、配送エリア、化学工場、爆発性の作業が行われている場所では、無線装置の使用に関する規定にしたがってください。爆発の危険性がある場所には、通常（ただし必ずではありません）そのことが明記されています。そのような場所とは、船舶の船室、化学薬品の運送または貯蔵施設、液体石油ガス（プロパンガスまたはブタンガス）を使用する自動車、粒子、ホコリ、あるいは金属粉末などの化学物質や粒子を空中に含む場所などが含まれます。

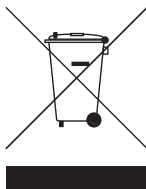
聴覚保護

聴覚障害を引き起こさないために、次の指示に従ってください。

- 音量を上げるときには、適度なレベルになるまで少しずつ音量を調整してください。
- 耳が音に慣れた後は、音量を上げないでください。
- 長時間高音量で音楽を聴かないでください。
- 周囲のノイズを遮断しようとして、それ以上に高音で音楽を聴かないでください。
- 近くで人が話している声が聞こえない程のレベルに音量を上げないでください。

廃棄のための注意

本電子製品を破棄する場合は、ゴミ箱に捨てないでください。地球環境を保護し、公害を最低限に留めるために、再利用にご協力ください。電子および電器装置の破棄に関する規定についての詳細は、<http://global.acer.com/about/sustainability.htm> をご覧ください。



ご使用になる前に

ご使用上の注意

次の指示にしたがってください：

- お手入れを始める前に、必ず製品の電源を切ってください。
- ディスプレイケースはマイルドな洗剤で濡らした布で拭いてください。
- 長期間製品をご使用にならない場合は、コンセントから電源プラグを外してください。

次のようなことはお止めください：

- 通気用のスロットや穴を塞がないでください。
- 研磨性クレンザー、ワックス、溶剤で本体のお手入れをしないでください。
- 次のような環境では本製品をご使用にならないでください：
 - 極度の高温、低温、高湿度の環境。
 - ホコリや汚れがひどい場所。
 - 強力な磁場を発生する場所の近く。
 - 直射日光が当たる場所。

ご使用前の注意

本体を長くお使いいただくために、本書に記載されているすべての警告と注意、およびメンテナンス上の注意にしたがってください。



警告：

- プロジェクタのランプがオンになっているときには、絶対にレンズを覗き込まないでください。光線が強力なため、視覚障害を引き起こす恐れがあります。
- 火災や電気ショックの原因となる場合がありますので、本製品を雨に濡らしたり、湿気の多い場所に放置したりしないでください。
- 電気ショックの原因となる場合がありますので、本製品を開けたり、解体したりしないでください。
- プロジェクタの電源を切る前に、冷却サイクルが完全に完了したことを確認してから電源を外してください。
- 先にプロジェクタをオンにしてから、信号ソースをオンにします。

目次

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために	iii
ご使用になる前に	ix
ご使用上の注意	ix
ご使用前の注意	ix
はじめに	1
プロジェクタの機能	1
パッケージ内容	2
プロジェクタの概要	3
はじめましょう	5
プロジェクタの接続	5
プロジェクタのスイッチを入れる	6
投射画像の調整	8
ユーザーコントロール	11
オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD)	11
色設定	12
画像の設定	13
投射設定	15
言語設定	15
付録	16
トラブルシューティング	16
LED と アラームの説明	19
仕様	20
互換性モード	21
規定と安全のための注意	23

はじめに

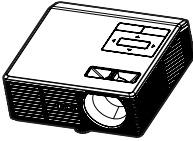
プロジェクタの機能

このプロジェクタはシングルチップ DLP® プロジェクタです。本製品には次のような優れた機能が備わっています：

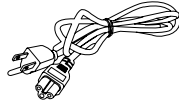
- DLP® テクノロジ
- 858 x 600 SVGA 解像度
縦横比 4:3 / 16:9 に対応
- NTSC/PAL/SECAM 対応、HDTV (480i/p, 576i/p, 720p, 1080i) 対応
- ビジネスおよびホームエンターテイメントに最適なコンパクトサイズのプロジェクタ
- 高度なデジタルキーストーン補正による最適なプレゼンテーション
- 多言語音声スクリーンディスプレイ (OSD) メニュー
- Microsoft® Windows® 2000、XP、Vista OS 対応

パッケージ内容

このプロジェクタには以下に示すすべてのアイテムが同梱されています。すべてのアイテムが揃っていることを確認してください。万一不足しているアイテムがある場合は、直ちに販売店へお知らせください。



プロジェクタ



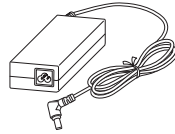
電源コード



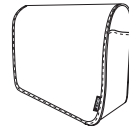
VGA ケーブル



コンポジットビデオ ケーブル



AC アダプタ



キャリーケース



クイックスタートガイド

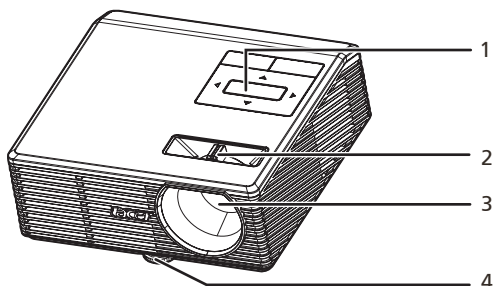


ユーザーガイド

プロジェクタの概要

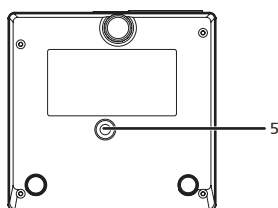
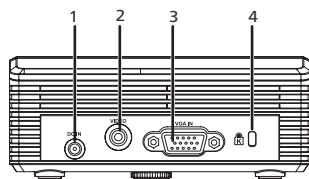
プロジェクタの外観

正面 / 上部



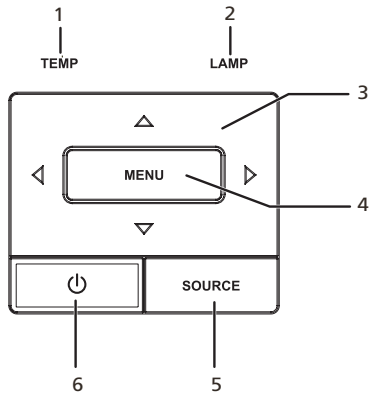
#	説明	#	説明
1	コントロールパネル	3	投射レンズ
2	フォーカスリング	4	高さ調整フット

背面



#	説明	#	説明
1	DC IN コネクタ	4	Kensington ロックポート
2	コンポジットビデオ入力コネクタ	5	三脚ソケット
3	PC アナログ信号 /HDTV/ コンポーネントビデオ入力コネクタ		

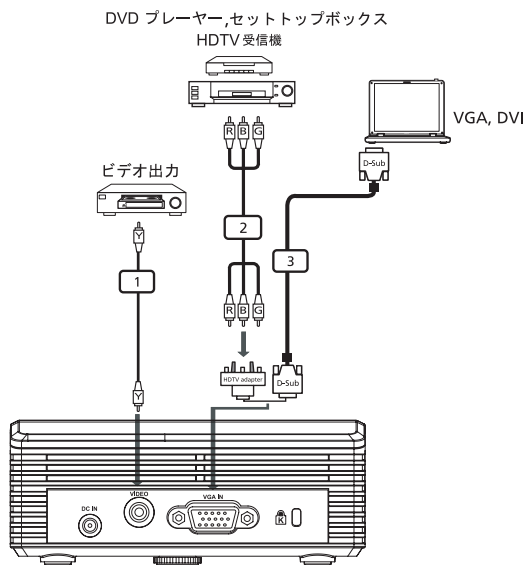
コントロールパネル



#	機能	説明
1	TEMP	温度インジケータ LED
2	LAMP	ランプインジケータ LED
3	四方向選択キー	<p>▲▼◀▶ はアイテムを選択したり、選択内容を調整したりするときに使用します。</p>
4	MENU	<ul style="list-style-type: none"> • [MENU] ボタンを押すと、オンスクリーンディスプレイメニュー (OSD) を起動したり、OSD メニューの前のステップに戻ったり、OSD メニューを終了したりすることができます。 • 選択したアイテムを確認します。
5	SOURCE	[SOURCE] ボタンを押すと、RGB、コンポーネント、S-Video、コンポジット、DVI、HDTV、HDMI などのソースを選択できます。
6	電源	[プロジェクタのスイッチを入れる] セクションをお読みください。

はじめましょう

プロジェクタの接続



#	説明
1	コンジットビデオ ケーブル
2	VGA - コンポーネント / HDTV アダプター
3	VGA ケーブル

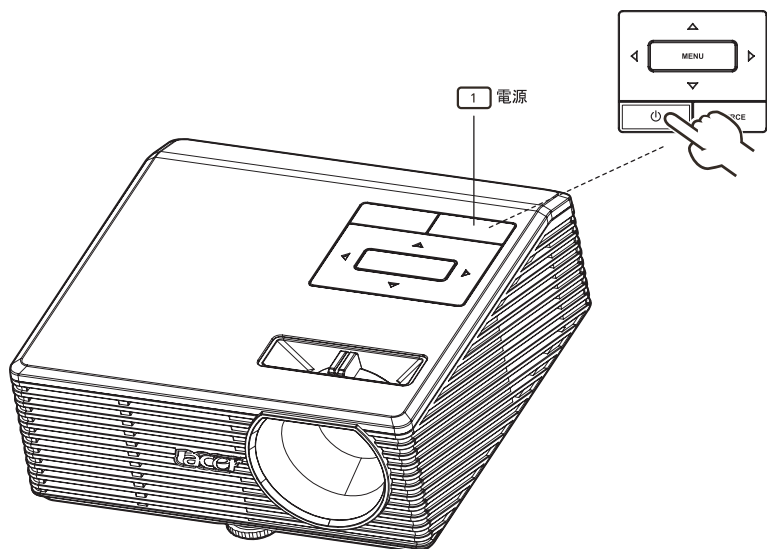


注意: コンピュータを正常に接続するために、ディスプレイモードのタイミングがプロジェクタに対応していることを確認してください。

プロジェクタのスイッチを入れる

プロジェクタの電源を入れる

- 1 ACアダプタ、電源コード、信号ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。電源 LED が赤く点滅します。
- 2 コントロールパネルの[電源]ボタンを押してランプをオンにすると、電源 LED が青く点灯します。
- 3 ソース(コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤなど)の電源を入れます。プロジェクタが自動的にソースを検出します。
 - スクリーンに[ロック]アイコンと[ソース]アイコンが表示された場合は、プロジェクタがそのソースタイプをロックし、そのようなタイプの入力信号が見つからないことを意味しています。
 - [信号なし]というメッセージが表示された場合は、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
 - 一度に複数のソースを接続する場合は、コントロールパネルの[SOURCE]ボタンを使用して入力を切り替えてください。



プロジェクタの電源を切る

- 1 プロジェクタの電源を切るには、[電源] ボタンを2回押します。すると下の
ようなメッセージが5秒間表示されます。
[電源ボタンをもう一度押して停止プロセスを完了してください。]
- 2 電源を切った直後は電源インジケータ LED が赤くすばやく点滅し、ファンが
約 20 秒間作動し続けます。これは確実にシステムを冷却するためです。
- 3 システムが冷却を完了すると、[電源]インジケータ LED が赤く点灯し、プロ
ジェクタがスタンバイモードに入ったことを知らせます。
- 4 このような状態になって初めて電源コードを抜くことができます。



.....

警告：電源を切つてすぐにプロジェクタの電源を入れることはお止めください。



.....

警告インジケータ：

- プロジェクタが自動的にシャットダウンし、TEMP インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクタが過熱していることを示しています。プロジェクタが過熱しようとしているときには、スクリーンに次のようなメッセージが表示されます：
[プロジェクタが過熱しています。ランプは間もなく自動的にオフになります。]
- TEMP インジケータが赤く点滅し、次のようなメッセージが表示された場合は、お近くの販売店かサービスセンターへお問い合わせください：
[ファン故障。ランプは間もなく自動的にオフになります。]

投射画像の調整

投射画像の高さを調整する

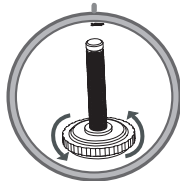
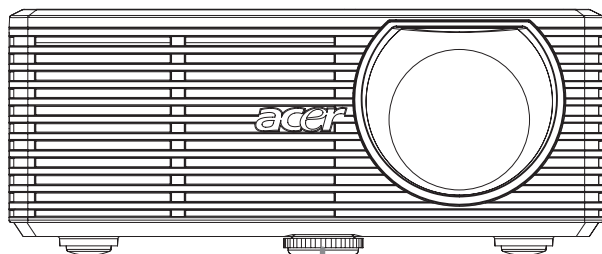
このプロジェクタには高さ調整用のフットが装備されています。

画像の高さを上げるには：

- 1 高さ調整用のフットを回して高さを上げてください。
- 2 画像が適切な高さと角度に投射されるように画像の高さを上げてください。

画像の高さを下げるには：

- 1 高さ調整用のフットを回して高さを低くしてください。
- 2 画像が適切な高さと角度に投射されるように画像の高さを下げてください。



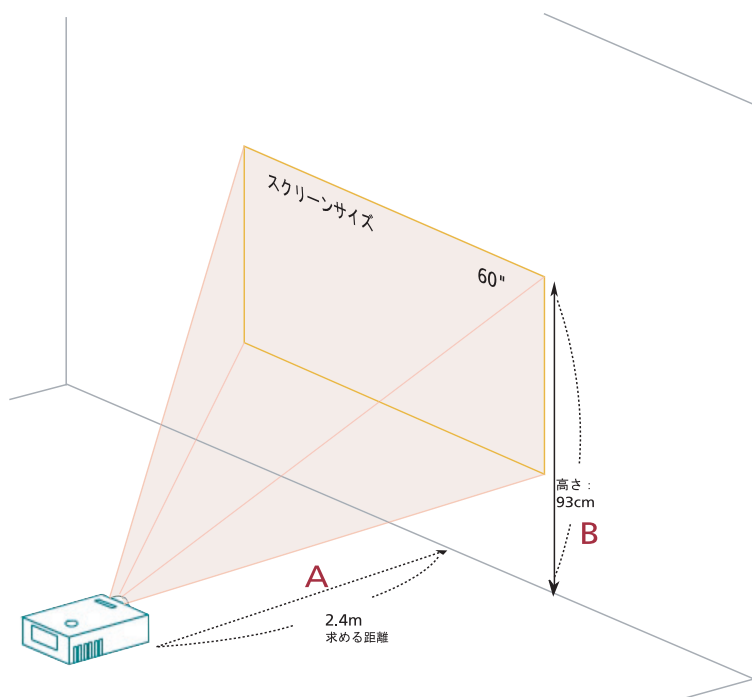
高さ調整フット

画像サイズと距離の最適化

プロジェクタとスクリーンの距離によって最適な画像サイズを割り出すには、下の表を参照してください。例えば、プロジェクタとスクリーンの距離が2.4 mで、画像サイズが60"のときに画質が良くなる場合。



注意：下の図に示す通り、プロジェクタとスクリーンの距離が2.4 mのときには高さ93 cmのスペースが必要です。



図：最適なスクリーンサイズで固定距離の場合。

求める距離 (m) < A >	スクリーンサイズ		
	対角 (インチ) < B >	幅 (cm) x 高さ (cm)	画像の底辺から上辺まで (cm) < C >
0.6	15	30 x 23	26
1.2	30	61 x 46	49
2	50	102 x 76	79
2.4	60	122 x 91	93

ユーザーコントロール

オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD)

このプロジェクトには画像の調整やさまざまな設定を調整するための、多言語によるオンスクリーン ディスプレイメニューが備わっています。OSD メニューをご使用になる前に、電源が接続され、信号が入力されていることを確認してください。

OSD メニューの使い方

- OSD メニューを開くには、リモコンかコントロールパネルで **[MENU]** を押してください。
- OSD が表示されたら、**▲** **▼** キーを使ってメインメニューのアイテムを選択します。任意のアイテムを選択したら、**▶** を押すと機能設定のためのサブメニューに入ります。
- **▲** **▼** キーを使って任意のアイテムを選択し、**◀** **▶** キーを使って設定を調整します。
- サブメニューで次に調整するアイテムを選択し、上記の手順で調整を行ってください。
- リモコンかコントロールパネルで **[MENU]** を押すと、メインメニューに戻ります。
- OSD メニューを終了するには、リモコンかコントロールパネルで再び **[MENU]** を押してください。OSD メニューが終了し、プロジェクトが自動的に新しい設定を保存します。



色設定



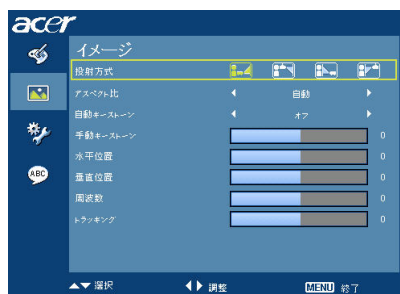
画面モード	<p>さまざまな種類の画像を最適化するためのプリセットが多数用意されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 明るさ：輝度を最適化します。 • 標準：フルカラーを最適化します。 • ビデオ：明るい場所でビデオを再生するためのモードです。 • ブラックボード：暗い色の面に画像を投射するときに表示された色を向上させます。 • ユーザー 1：ユーザー設定を保存しておくことができます。 • ユーザー 2：ユーザー設定を保存しておくことができます。
輝度	<p>画像の輝度を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ◀ を押すと画像を暗くします。 • ▶ を押すと画像を明るくします。
コントラスト	<p>画像の中で最も明るいエリアと最も暗いエリアの差を調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ◀ を押すとコントラストが低くなります。 • ▶ を押すとコントラストが高くなります。
色温度	<p>色温度を調整します。色温度を高くするほど、スクリーンが寒色に近くなり、色温度を低くすると暖色に近くなります。</p>
ガンマ解除	<p>暗いシーンの表示に影響を与えます。ガンマ値を上げるほど暗いシーンがより明るくなります。</p>
赤	<p>赤を調整します。</p>
緑	<p>緑を調整します。</p>
青	<p>青を調整します。</p>
彩度	<p>モノクロのビデオ映像を完全なカラー映像に調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ◀ を押すと映像の色の量が減少します。 • ▶ を押すと映像の色の量が増加します。





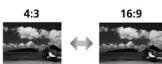
色彩	<p>赤と緑のバランスを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◀ を押すと緑の量が増加します。 ▶ を押すと赤の量が増加します。
----	---




注意：[彩度]と[色彩]機能はコンピュータモードではサポートされていません。

画像の設定



<p>投射方式</p> 	<p>正面—デスクトップ</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルト設定です。
	<p>正面—天井</p> <ul style="list-style-type: none"> 天井に取り付けるため、プロジェクタは画像を反転させます。
	<p>背面—デスクトップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 透明なスクリーンの背後から投射するため、プロジェクタは画像を逆転させます。
	<p>背面—天井</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクタは画像の反転と逆転を同時に行います。このモードでは、天井取り付けにより背後から透明なスクリーンに投射することができます。
<p>アスペクト比</p> 	<p>任意の縦横比を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動：画像の元々の幅と高さの比率を維持し、ネイティブの縦横のピクセルに合わせて画像を最大化します。 4:3：画像はスクリーンに合わせてリサイズされ、4:3の比率で表示されます。 16:9：画像はスクリーンの幅に合わせてリサイズされ、高さは16:9の比率に合わせて調整されます。
<p>自動キーストーン</p>	<p>[オン]を選択すると、自動キーストーンが有効になります。[オフ]を選択すると、自動キーストーンが無効になります。</p>

手動キーストーン	<p>プロジェクタが傾いているために生じた画像の歪みを調整します。 (±40度)</p> 
水平位置	<ul style="list-style-type: none"> ◀ を押すと画像を左に移動させます。 ▶ を押すと画像を右に移動させます。
垂直位置	<ul style="list-style-type: none"> ◀ を押すと画像を下に移動させます。 ▶ を押すと画像を上を移動させます。
周波数	[周波数]はプロジェクタのリフレッシュレートをコンピュータのグラフィックカードの更新間隔に合わせて変更します。投射画像に縦にちらつく線が走る場合は、この機能を使って調整を行ってください。
トラッキング	ディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードと同期させます。画像が安定しない、あるいはちらつく場合は、この機能を使って補正してください。
鮮明度	<p>画像の鮮明度を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◀ を押すと鮮明度が低くなります。 ▶ を押すと鮮明度が高くなります。



注意： [水平位置]、[垂直位置]、[周波数]、[トラッキング]などの機能はビデオモードでは使用できません。
注意： [鮮明度]機能はコンピュータモードではサポートされません。

投射設定



メニュー位置	ディスプレイスクリーン上に表示するメニューの位置を選択します。
ソースロック	この機能を [オフ] にすると、現在の入力信号が失われたときにプロジェクタが別の信号を検出します。[オン] にすると、リモコンで [SOURCE] ボタンを押して次のチャンネルを選択するまで現在のソースチャンネルをロックします。
高度	この機能はファンを連続的にフルスピードで作動させて、プロジェクタを高地モードで冷却します。
自動シャットダウン (分)	信号入力が指定した時間以上検出されない場合、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。(分単位)
LED キャリブレーション	<ul style="list-style-type: none"> [はい] を選択し (▶) を押した後は、ホワイトカラー微調整を行いますので 10 秒間お待ちください (この機能は電源をオンにして 30 分後から使用することができます)。これは LED カラーの性能を調整するのに役立ちます。
リセット	<ul style="list-style-type: none"> [はい] を選択した後、(▶) を押すと、すべてのメニューのパラメータがデフォルト値に戻されます。

言語設定



言語	<p>多言語 OSD メニューを選択します。(▲) (▼) を使ってメニュー言語を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> (▶) を押して選択内容を確認します。
----	--

付録

トラブルシューティング

本製品をご使用になる上で問題が生じる場合は、トラブルシューティングに記載される対処法にしたがってみてください。それでも問題を解消できない場合は、お近くの販売店またはサービスセンターへお問い合わせください。

画像の問題と対処法

#	問題	対処法
1	スクリーンに画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ [装着] セクションに参照し、接続してください。 ・ コネクタピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認してください。
2	画像の一部、スクロール、画像が正しく表示されない (PC (Windows 95/98/2000/XP) に対して))	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像が正しく表示されない場合： <ul style="list-style-type: none"> ・ [マイ コンピュータ] - [コントロール パネル] を開き、[ディスプレイ] アイコンをダブルクリックします。 ・ [設定] タブを選択します。 ・ ディスプレイ解像度が SVGA (800 x 600) と同等、またはそれよりも低く設定されていることを確認してください。 ・ [詳細プロパティ] ボタンをクリックします。 それでも問題を解消できない場合は、使用しているモニターディスプレイを変えて、次の手順にしたがってください： <ul style="list-style-type: none"> ・ 解像度が SVGA (800 x 600) と同等、またはそれよりも低く設定されていることを確認してください。 ・ [モニター] タブで [変更] ボタンをクリックします。 ・ [すべてのデバイスを表示] をクリックします。 次に [SP] 欄で [標準モニタの種類] を選択し、[モデル] 欄で必要な解像度モードを選択します。 ・ モニタディスプレイの解像度が SVGA (800 x 600) と同等、またはそれよりも低く設定されていることを確認してください。
3	画像の一部、スクロール、画像が正しく表示されない (ノートブックに対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像が正しく表示されない場合： <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 番目のアイテム (上記) の手順にしたがってコンピュータの解像度を調整します。 ・ 相当するボタンを押して出力設定を切り替えてください。例えば、[Fn]+[F4], Compaq [Fn]+[F4], Dell [Fn]+[F8], Gateway [Fn]+[F4], IBM [Fn]+[F7], HP [Fn]+[F4], NEC [Fn]+[F3], Toshiba [Fn]+[F5] ・ 解像度を変更できなかったり、モニターが静止したりする場合は、プロジェクトも含めたすべての装置を再起動してください。

4	ラップトップコンピュータのスクリーンにプレゼンテーションが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft® Windows® ベースのラップトップを使用する場合：ラップトップの中には第2ディスプレイ装置が使用されると、ノートブックのスクリーンを消画するものがあります。スクリーンを再度表示する方法は、ノートブックによって異なります。詳細はノートブックの取り扱い説明書をお読みください。 • Apple® Mac® ベースのラップトップを使用する場合：[システム環境設定] で [表示] を開き、[ビデオミラーリング] を [オン] にします。
5	画像が安定しない、またはちらつく	<ul style="list-style-type: none"> • [トラッキング] を使って補正してください。詳細は、[画像の設定] をお読みください。 • コンピュータのディスプレイカラーを変更してください。
6	画像に縦にちらつく線が走る	<ul style="list-style-type: none"> • [周波数] を使って調整してください。詳細は、[画像の設定] をお読みください。 • グラフィックカードのディスプレイモードを確認した後、プロジェクトと互換性を持たせるように再構成します。
7	画像のピントがずれる	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクタのレンズのフォーカシングを調整します。 • 投射スクリーンとプロジェクタの距離が 0.38 ~ 1.52 メートルまでの必要な範囲内にあることを確認してください。詳細は、[画像サイズと距離の最適化] を参照してください。
8	ワイドスクリーン DVD タイトルを表示すると画像が引き伸ばされる	<p>アナモルフィックまたは縦横比が 16:9 でエンコードされた DVD を再生する場合は、次の設定を調整する必要があるかもしれません：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4:3 フォーマットの DVD タイトルを再生する場合は、プロジェクタの OSD でフォーマットを 4:3 に変更してください。 • それでも画像が引き伸ばされたままの場合は、縦横比を調整する必要があります。DVD プレーヤーでディスプレイフォーマットを 16:9 (ワイド) に設定してください。
9	画像が小さすぎる、または大きすぎる	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクタとスクリーンの距離を縮める、または離してください。 • コントロールパネルで [MENU] を押します。[画像の設定 -> アスペクト比] を選択し、別の設定を試してみてください。
10	画像の辺が斜めに歪む	<ul style="list-style-type: none"> • 可能であれば、画像がスクリーンの中央に表示されるようにプロジェクタの位置を調整してください。 • OSD で [イメージ -> 自動キーストーン -> オン] を選択し、投射画像の歪みを補正してください。
11	画像が反転する	<ul style="list-style-type: none"> • OSD で [イメージ -> 投射方式] を選択し、投射方向を調整します。
12	画像の色の異常	<ul style="list-style-type: none"> • コントロールパネルで [MENU] を押します。[投射設定 -> リセット] 機能を選択します。 • それでも作動しない場合は、[投射設定] で [LED キャリブレーション] をアクティベートし、10 秒間お待ちください。

プロジェクタの問題

#	問題の状態	対処法
1	プロジェクタはどのような操作にも応答しなくなります	可能であればプロジェクタの電源を一度切り、電源に接続する前に、電源コードを抜いた後、約 30 秒間お待ちください。

OSD メッセージ

#	問題の状態	メッセージ警告
1	メッセージ	<p>ファン故障 – システムファンが作動していません。</p> <p style="text-align: center;"> <small>ファン故障</small> <small>ランプは閉むる自動的にオフになります。</small> </p> <p>プロジェクタが過熱しています – プロジェクタが推奨する作動温度を超えたため、再び使用するには冷却する必要があります。</p> <p style="text-align: center;"> <small>プロジェクタが過熱しています。</small> <small>ランプは閉むる自動的にオフになります。</small> </p>

LED と アラームの説明

LED メッセージ

メッセージ	ランプ LED	温度 LED	電源 LED	
	赤	赤	赤	青
スタンバイ (ACアダプタと電源コードが接続された常態)	--	--	V	--
電源オン	--	--	--	V
電源オフ (冷却段階)	--	--	すばやく点滅	--
電源オフ (冷却完了)	--	--	V	--
ファームウェアのダウ ンロード	V	V	V	--
エラー (温度スイッチと 温度センサーのエラー)	--	V	--	V
エラー (ファンロック エラー)	--	すばやく点滅	--	V

仕様

下記の規格は将来予告なく変更される場合があります。最終的な使用については、Acer のマーケティング文書を参照してください。

投射システム	DLP™
解像度	SVGA (858 x 600)
コンピュータの互換性	IBM PC および互換機、Apple Macintosh、iMac、VESA 規格：SXGA、SVGA、VGA (リサイズ)
ビデオの互換性	NTSC (M/4.43), PAL (B/D/G/H/I/M/N), SECAM, HDTV (480i, 480p, 576i, 576p, 720p, 1080i)
アスペクト比	4:3 (ネイティブ), 16:9
表示可能な色数	1670 万色
投射レンズ	F / 2, f = 17.67 mm
投射スクリーンサイズ (対角)	15" (0.38 m) - 60" (1.52 m)
投射距離	1.97 フィート (0.6 m) - 7.87 フィート (2.4 m)
投射率	1.97 (@4:3)
水平スキャンレート	15 - 100 kHz
垂直リフレッシュスキャン レート	43 - 85 Hz
キーストーン補正	+/- 40 度 (手動) +/- 30 度 (自動)
重量	550 g (6.17 lbs.)
寸法 (W x D x H)	126.9 x 121.6 x 48.7 mm (5.0 x 4.8 x 1.9 インチ)
電源	+19V DC
消費電力	<90W <1W(スタンバイモード)
操作温度	5°C から 35°C / 41°F から 95°F
I/O コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> • DC 入力 x 1 • VGA 入力 x 1 • コンポジットビデオ x 1
標準のパッケージ内容	<ul style="list-style-type: none"> • AC アダプタ x 1 • AC 電源コード x 1 • VGA ケーブル x 1 • コンポジットビデオ ケーブル x 1 • ユーザーガイド (CD-ROM) x 1 • クイックスタートガイド x 1 • キャリーケース x 1

* デザインと規格は将来予告なく変更される場合があります。

互換性モード

A.VGA アナログ

1 VGA アナログ – PC 信号

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
VGA	640x480	59.9	31.5
	640x480	72.8	37.9
	640x480	75	37.5
	640x480	85	43.3
SVGA	800x600	56.3	35.2
	800x600	60.3	37.9
	800x600	72.2	48.1
	800x600	75	46.9
XGA	800x600	85.1	53.7
	1024x768	60	48.4
	1024x768	70.1	56.5
	1024x768	75	60
SXGA	1024x768	85	68.7
	1152x864	75	67.5
	1280x960	60	60
	1280x1024	60	64
	1280x800	84.9	71.6
	1280x800	74.9	62.8
	1280x800	59.8	49.7

2 VGA アナログ – HDTV 信号

信号	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
480i	60	15.8
480p	60	31.5
576i	50	15.6
576p	50	31.3
720p	60	45
720p	50	37.5
1080i	60	33.8
1080i	50	28.1

規定と安全のための注意

FCC 規格

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください：

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- このデバイスと受信装置の距離をあける。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ / テレビ技術者に問い合わせる。

注意：シールド付きケーブル

FCC 規定に準拠するために、その他のコンピューティング装置へ接続する場合は必ずシールド付きケーブルをお使いください。

注意：周辺機器

本製品には Class B に準拠した周辺機器（入力装置、端末、プリンタなど）のみ接続することができます。クラス B に準拠していない周辺機器を接続すると、ラジオや TV 受信装置に干渉を生じさせる場合があります。

警告

製造元からの文書による許可なく変更を加えたり、改造したりすると、FCC が許可した本製品を操作する権利が失われます。

操作条件

このデバイスは FCC 規定の第 15 条に準拠しています。次の 2 つの条件にしたがって操作を行うことができます：(1) このデバイスが障害を発生しないこと (2) 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

カナダ — 低電源ライセンス免除無線通信装置 (RSS-210)

a 一般情報

次の2つの条件にしたがって操作を行うことができます：

1. このデバイスが障害を発生しないこと
2. 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

b 2.4 GHz 帯域での操作

ライセンスされたサービスへのラジオ干渉を防止するために、本装置は室内で使用することを前提として設計されており、野外で設置する場合はライセンスを取得する必要があります。

EU 加盟国の準拠

Acer はここに本装置が 1999/5/EC 指令の必須条件とその他の関連条項に準拠していることを宣言します。(完全な文書をお読みにになりたい方は、<http://global.acer.com/support/certificate.htm> をご覧ください。)

無線装置に関する規定



.....

注意： 次の規定情報は、ワイヤレス LAN および Bluetooth 機能対応モデル用です。

全般

本製品は無線使用が許可された国または地域における無線周波と安全のための規格に準拠しています。構成によって、本製品には無線装置（ワイヤレス LAN、Bluetooth モジュールなど）が含まれている場合と、含まれていない場合があります。以下の情報は、無線装置が含まれた製品用です。



Acer America Corporation
 333 West San Carlos St., San Jose
 CA 95110, U. S. A.
 Tel : 254-298-4000
 Fax : 254-298-4147
 www.acer.com



Federal Communications Commission Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

The following local Manufacturer / Importer is responsible for this declaration:

Product:	DLP Projector
Model Number:	PSV0808
Machine Type:	K10
Name of Responsible Party:	Acer America Corporation
Address of Responsible Party:	333 West San Carlos St. San Jose, CA 95110 U. S. A.
Contact Person:	Acer Representative
Phone No.:	254-298-4000
Fax No.:	254-298-4147



Declaration of Conformity

We, **Acer Computer (Shanghai) Limited**
3F, No. 168 Xizang medium road, Huangpu District,
Shanghai, China

Contact Person: Mr. Easy Lai
Tel: 886-2-8691-3089
Fax: 886-2-8691-3120
E-mail: easy_lai@acer.com.tw

Hereby declare that:

Product:	DLP Projector
Trade Name:	Acer
Model Number:	PSV0808
Machine Type:	K10

Is compliant with the essential requirements and other relevant provisions of the following EC directives, and that all the necessary steps have been taken and are in force to assure that production units of the same product will continue comply with the requirements.

EMC Directive 2004/108/EC as attested by conformity with the following harmonized standards:

- EN55022:1998 + A1:2000 + A2:2003, AS/NZS CISPR22:2002, Class B
- EN55024:1998 + A1:2001 + A2:2003
- EN61000-3-2:2000, Class D
- EN61000-3-3:1995 + A1:2001

Low Voltage Directive 2006/95/EC as attested by conformity with the following harmonized standard:

- EN60950-1:2001

RoHS Directive 2002/95/EC on the Restriction of the Use of certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment